

2018年(平成30年)2月 日

羽田空港増便による都心および港区の低空飛行ルート
計画の撤回を含む再検討を国に求める請願

港区議会議長 池田こうじ 様

請願人：

白金三光第五町会

会長 大竹 国康

高輪共和会

会長 片桐 義雄

高輪二丁目長和会

会長 今福 昌三

高輪二本榎町会

会長 田口 智昭

田島町町会

会長 杉浦 英幸

白高町会

会長 蓑輪 孝一

松ヶ丘会

会長 安藤 洋一

みなとの空を守る会

共同代表 増間 碌郎

(連絡先) 〒108-0073 港区□□□□ 携帯 090-4523-0338

請願事項

区民の多くは地域の安心・安全を脅かし生命、財産をも危険に晒す羽田空港増便による都心および港区低空新飛行ルート計画には反対してきました。港区として区民の安心・安全、生活環境を守る立場から国に計画の撤回を含む再検討を強く申し入れていただきたい。

請願理由

国交省は都心低空飛行ルート計画の発表以後、住民に対して情報提供という名目で説明会（教室型、オープンハウス型）を開催してきました。説明会に参加した住民の多くは本計画の内容を知れば知るほど低空飛行に伴う、「耐え難い騒音」、「落下物事故」そして「不動産価値の下落」など不安が募りました。住民からは「この計画は結論ありきではないか？いったん白紙に戻して、なぜ国際便の増便を羽田で行う必要があるのかもっと議論すべきではないか」、「この計画はそもそも何方が発案され推し進めようとしているのか明らかにしてもらいたい。この計画での国会での審議、決議はなく、行政が決定できる事案ではないのではないか？」、「落下物が人にあたる危険性、墜落の危険性をデータで示すべきでないか？」、「経済効果 6500 億円の詳しい積算根拠と飛行することによって生じる資産減少も試算すべきでないか？」、「都心の人口密度の高い地域の上空を低空飛行させるのは現在住んでいる人だけでなく将来の住人の方々の環境悪化を招くことにつながる所以この計画は認められない」、「この計画は国がやろうとしているようだが影響を直接受けるのは港区民であり、是非とも港区として明確に反対の立場を表明していただきたい」さらに「国交省はこの計画に関する告知が大変不十分、周りには計画そのものや説明会の存在自体を知らない人も多くいるので十分な告知をして教室型を含めきめ細かい住民説明会をやっていただきたい」など本計画に対する意見、疑念、不安、反対の声が益々大きく高まっております。

また、最近の落下物事故以来、低空飛行問題はNHKをはじめテレビ、新聞、雑誌など多くのマスコミでも取り上げられ区民のみならず都民、国民の重大関心事となってきています。

こうしたことから区民の安心・安全な生活環境を守る立場から区議会として国に対して羽田増便に伴う都心および港区低空飛行計画の撤回を含め再検討を強く申し入れていただきたく要望します。

以上